

# 岐阜大学病院 初期研修協力病院 施設紹介



- ### 全国の協力病院・施設
- 愛知県**
    - 一宮市立市民病院
    - 総合大雄会病院
    - 大雄会第一病院
    - 犬山中央病院
    - がんセンター中央病院
    - 国立病院機構 豊橋医療センター
  - 岩手県**
    - 岩手県立磐井病院
    - 岩手県立千厩病院
  - 滋賀県**
    - 彦根市立病院
  - 福井県**
    - 杉田玄白記念公立小浜病院
  - 東京都**
    - 聖路加国際病院

## ● 研修医専用宿舎



平成28年3月に完成した研修医専用宿舎が2棟あり、研修医は家賃無料で住むことができます。場所は病院近隣にあり通勤にも便利です。

**設 備**

24時間緊急対応/BSアンテナ/CSアンテナ/クローゼット/カメラ付きインターホン/ガスコンロ/エアコン/照明器具/洗面化粧台/シャワー付きトイレ/浴室換気乾燥機/駐車場/ミニキッチン/室内洗濯機置場/窓シャッター/シャワー/ベランダ/ティンブルキー/ガスLPG/排水:下水道

## ● 研修生活をサポートする施設・設備

- ・カフェ・コンビニ**  
病院本館にカフェ（タリーズコーヒー）とコンビニ（ローソン）がオープンしました。
- ・職員用ラウンジ**  
平成26年11月開設24時間利用可能。飲み物の提供やマッサージチェア等があります。
- ・図書室**  
医学部図書館(病院隣接)や、岐阜大学総合図書館が利用できます。

- ・生協**  
病院隣接の生協(医学部)では、各種医学書(邦洋書)がお取り寄せできます。また、帰省・旅行チケットも同店で購入できます。
- ・郵便局/ATM**  
病院内に、郵便局(病院1F南入り口)とATM(十六銀行・大垣共立銀行・岐阜信用金庫、病院1F中央階段裏)があります。
- ・売店/喫茶/理美容室/レストラン**  
病院内には、食堂(病院隣接1F)、レストラン・売店・理美容室(共に病院2F病棟行エレベーター周辺)があります。

## ● 医師育成推進センター



医師育成推進センターは、卒前の臨床実習から初期・専門までしっかりサポートをします。各種シミュレーターも豊富で、ゆったりと広い研修医室で研修に取り組みることができます。シャワー室や仮眠室も完備しており、過ごしやすい環境を提供できるよう努めています。

# 人間性豊かな 医師の育成

あなたの未来を創る環境がここにはあります

## 平成31年度 臨床研修医募集案内

岐阜大学医学部附属病院  
Gifu University Hospital

## ● 平成31年度研修医募集要項

出願資格	次の要件を満たす者とする。 (1)第113回医師国家試験を受験し、マッチングに参加登録する者 (2)マッチング不参加者・アンマッチ又は、平成17年以降の医師免許取得者 *ただし、(2)に関しては、マッチング終了後、定員に達していない場合に募集を行います。
募集人員	岐阜大学病院 プログラム 29名(予定) 岐阜大学病院地域連携 プログラム 3名(予定) 岐阜大学病院周産期 プログラム 4名(予定)
選抜方法	(1)書類審査 (2)面接試験(10～15分間)
採用試験 期間 及び場所	期日：7月下旬～8月上旬 (詳細は、決定後、岐阜大学病院医師育成推進センター HP上でお知らせ) 場所：岐阜大学医学部附属病院(時間及び場所は願書受付後通知します)
出願書類	出願書類 所定の選抜試験願書(HPからダウンロード：PDF) 又は市販の履歴書に所要事項を記入し、 写真(縦4cm×横3.5cm、3ヶ月以内に撮影した同一正面上半身脱帽のもの)を貼付する。 ※希望プログラム及びコースを希望順に記入すること。
出願手続	出願方法 (1)出願は郵送または持参とする。 (2)郵送にあたっては、封筒に「医師(研修医)応募書類在中」と朱書き、書留とすること。 (3)面接希望日1週間前までに必着
出願期間	7月2日(月)～ ※採用試験日等について要望がある場合には、医師育成推進センターへご連絡ください。

## ● 研修医処遇(平成30年度)

身分	非常勤職員
研修手当	基本手当 10,000円/日 研修医手当 60,000円/月 時間外手当・夜間臨床研修医手当 有
勤務時間	8:30～17:15 時間外勤務有(当直4～5回/月)
休暇	有給休暇 1年次10日・2年次11日 年末年始 有
保険	社会保険、厚生年金、 雇用保険あり、労災適用あり
研修医宿舎	有(家賃無料)
医師賠償 責任保険	病院において加入、任意で個人加入
健康管理	健康診断 年2回
学外の研修活動	学会・研究会等への参加 可 学会・研究会等への参加費支給 有
その他	アルバイトは禁止

## ● アクセス・病院までの交通案内



**JR** ——— 東海道線「岐阜駅」で下車  
**名古屋鉄道** — 名鉄本線「名鉄岐阜駅」で下車

**JR岐阜駅**  
⑧バスのりば  
岐阜町線 N45系統  
C72直行便(学休日運休)  
C71清流ライナー(学休日運休)  
岐阜大学・病院線C70系統

**名鉄岐阜**  
(南田町通の)  
⑥バスのりば  
岐阜町線 N45系統  
岐阜大学・病院線C70系統

**名鉄岐阜**  
(バスターミナル)  
⑨バスのりば  
C72直行便(学休日運休)

「岐阜大学病院」  
で下車  
(運賃:320円)



# 総合力のある人間性豊かな 専門医を目指して

医師育成推進センター長  
森田 浩之



医師となって最初に経験する初期臨床研修の2年間は、医師として最も大きく成長し、どのような医師になるかという将来を決めるとても重要な期間です。豊かな人間性と社会性、プロフェッソナリズム、科学的な思考と判断力を養うことで、医師にもっとも大切な「患者を全人的に診る能力」を身につけます。岐阜大学医学部附属病院の卒後臨床研修プログラムは「人間性豊かな医師の育成」をキャッチフレーズに、理想の医師になるための第一歩を安心して踏み出せるよう全力で研修医をサポートします。

岐阜県で唯一の大学病院である岐阜大学医学部附属病院は、岐阜県医療の「最後の砦」として難治・重症・救急患者を中心に高度医療に対応する専門性の高い特定機能病院です。本院の卒後臨床研修プログラムは選択の自由度が高いのが特徴で、希望に沿って柔軟にプログラムを構成できます。それを生かして初期臨床研修終了後の専門医研修制度までを見据えて、希望する専門医取得を最終目標とした一貫した初期臨床研修を実践しています。一方、プライマリ・ケアにも重点を置き、救急外来研修や総合臨床教育研修を必須化しているほか、協力型研修病院と本院での研修を1年ずつ行う「たすき掛けコース」も用意しています。問診や身体診察を重視し、病態を把握して診断に必要な検査を選択し、臨床推論を行って適切に診断・治療をしてゆく過程を十分に研修できます。

各研修医の希望と臨床レベルに見合った研修ができるよう、きめ細やかな指導医体制とフィードバックシステムを構築しています。当院の指導医は、豊富な知識・経験と優れた技能をもつ専門医であるとともに、研修医の良き相談役です。十分な広さと設備が整った研修医室、内視鏡外科手術トレーニングセンターや症例検討会などを開催できる Webカンファレンス室などを併設する医師育成推進センター、大学病院ならではの大きな図書館、専任の事務職員の前駐、無料の研修医宿舎など、研修する環境は非常に整っています。さらに、2018年度から研修手当も少しですがアップしました。

医療は人と人との繋がりによって相互に補完・助け合いながら成り立っています。心が通う良好な医師・患者関係の構築は勿論ですが、医療スタッフとのコミュニケーション力や協調性もチーム医療を適切に行う上で欠かせないものです。基本的技能の習得に加え、こうした医師としての素養を身に付けることは最初の初期臨床研修が肝心で、それは生涯に亘って財産になるものです。当院は、医師と看護師・薬剤師・技師を始め多職種との連携が良好で、合同カンファレンスも頻繁に開催され、チーム医療の研修もできます。

岐阜県民から信頼されている当院で医師としてのキャリアをスタートし、将来は総合力のある人間性豊かな専門医を目指してもらいたいと思います。当院の研修医教育に熱心で実績のある多彩なスタッフが、皆さんの当院での研修を心からお待ちしています。

## SUPPORT あなたは10年後どんな医師になりたいですか？

皆様もご存知のように本年度より日本専門医機構による新しい専門医制度が開始されます。現在の学会による専門医認定から第3者機関である専門医機構により専門医が認定されることとなります。当大学病院では、各診療科主導により19の基本領域の専門医プログラムのうち形成外科（連携施設としてプログラム選択は可能）を除く18領域が基幹施設になっております。加えて基本領域の専門医取得後を目指す subspecialty 専門医の研修プログラムが整備されています。現在、当院のプログラムに今年度より16領域62名が専攻医として登録しており、岐阜県下最大の専門医育成施設です。従いまして当部門では、専門医を志す若手医師にわかりやすいように、どの診療科がどのような専門医研修プログラムを準備しているかをお知らせする役割を担っています。希望される専門医に関して診療科のプログラム担当者と適切に情報交換ができるように橋渡しします。お気軽にアクセス頂ければ、先生方の今後のキャリアパスについて親身にご相談に乗れるかと思っておりますので、よろしくご活用いただければ幸いです。



専門医研修支援部門長 岩田 尚

### 専門医取得までのサポート体制 岐阜県医師育成・確保コンソーシアムについて

岐阜大学医学部と県内9構成（＝幹事）病院が中心となり、医師育成を通じた地域医療の確保を目指して結成された協議会です。コンソーシアムでは、県内の医療機関での臨床研修と、その後のキャリアアッププログラムを提供し、医師が安心して自分自身の成長を実感できるような医療現場となるよう、施設間での調整を行っています。

WEBサイトはこちら → [http://www1.gifu-u.ac.jp/~dr\\_conso/](http://www1.gifu-u.ac.jp/~dr_conso/)

岐阜県医師育成・確保コンソーシアム 検索



※現在の各診療科等のプログラムについては、医師育成推進センターHPから、専門研修プログラムを参照

# 人間性豊かな医師の育成

## 基本の習得から先進医療の経験まで バランスよく研修を行います。

大学病院の研修の特色の1つに協力病院とのたすき掛けコースがあります。大学病院でのアカデミックでかつ高度な医療の経験、多数の協力病院である市中病院でのプライマリ研修を経験できます。大学病院の中でも救急外来研修は充実してきました。

## 研修医の声に基づく研修を実現します。

研修医とのヒアリングを行い、救急外来研修を改変し、検査部研修を導入してきました。

研修スケジュールは研修医のニーズを尊重して計画しています。

## 社会からの求められる役割を自覚し 自ら研鑽できる医師を育成します。

自主性をもち、自分のニーズに応じた研修スケジュールが可能です。我々は、岐阜県の地域医療の中核病院、最後の砦としての大学病院の診療にあたる自覚を身につけ、患者中心の医療を実践できるように指導します。



### 横山先生

私はコース3を選択しました。市中病院で初期対応や救急外来の経験も積みたいし、大学病院も研修医で経験したいと思っており、共に満たせるプログラムでした。大学病院は上級医の先生が多く、たくさん声をかけていただけたり、各科の先生が講義をしてくださる研修医セミナーもあり、充実した研修生活を送ることができました。 ※1年目：中濃厚生病院 2年目：岐阜大学病院

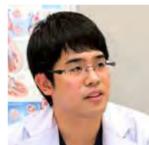
岐阜大学病院プログラム コース3

### 楠澤先生

私は岐阜大学病院の急性期コースでの初期研修を終え、今は救急専任医として高次救命治療センターで研鑽を積んでいます。急性期コースの特徴は急性期診療に携わるために必要なことを学ぶため、複数の協力病院での研修やドクターヘリなどの研修もできる点です。救急医としてのスタートダッシュができるこの上ないチャンスです。ぜひ話を聞きに来てください！



岐阜大学病院プログラム コース4(急性期)



### 中神先生

岐阜大学病院の長所は希望すれば研修科を変えられる所です。途中まで自分の専門科が曖昧でしたが、研修中に大まかに決まっただけでも変えられたので、自分の未来を常に考えながら研修をすることができました。また経験値は確かに少ないかもしれませんが、それ以上に1人1人患者さんと向き合い、考え方や基礎を学ぶには十分な研修場所だと思います。

岐阜大学病院プログラム コース1

### 青島先生

研修医室は広くてきれいです。研修医同士で、採血・ルートの取りあいをしたり、縫合結紮など手技の上達に切磋琢磨しています。先輩から、日常診療の分からないことや進路相談など、たくさんアドバイスをいただきました。宿舎は新築で快適で無料です。



岐阜大学病院プログラム コース1

## 岐阜大学医学部附属病院の3つのプログラム

### ● 基本研修ローテーション

1年目	必須科目		選択科目
	内科6か月	救急3か月	病院が定める必須科目または選択科目3か月

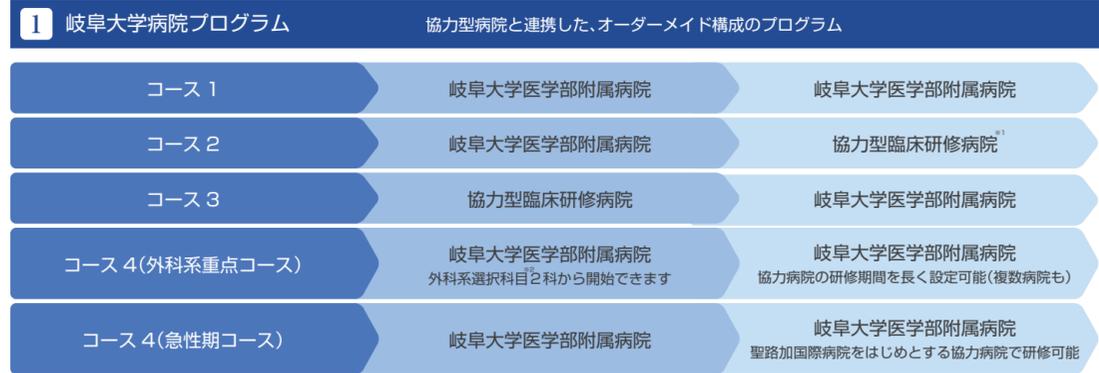
  

2年目	必須科目	選択科目
	地域医療1か月	病院が定める必須科目または選択科目11か月

### ● 病院が定める必須科目

4か月間	外科系2か月	外科	第1外科	1か月×1科
		第2外科		
		整形外科	0.5か月×2科 または 1か月×1科	
		脳神経外科		
		眼科		
		耳鼻咽喉科		
皮膚科				
泌尿器科				
小児科1か月				
産婦人科1か月				

研修診療科の変更が原則1か月前まで可能、自由選択期間が10か月



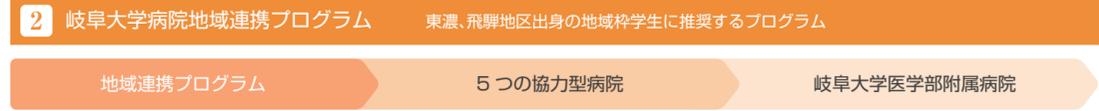
※1 コース2のたすき先に岐阜県総合診療センターは選択できません。  
※2 外科系選択科目：心血管外科・消化器外科・呼吸器外科・乳癌外科・産婦人科・整形外科・脳神経外科・眼科・耳鼻咽喉科・形成外科・皮膚科・泌尿器科・麻酔科・疼痛治療科

### ● プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と、認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制と岐阜大学に特徴的なセンター医療システムを活用している点が特筆に値する。柔軟な診療科選択や希望変更が可能であり、あらゆる研修ニーズに適応できる。

### ● 臨床研修の目標の概要

必修科選択により先ずプライマリ・ケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評価とレポート評価を行う。次いで希望する診療科を自由選択して専門性の向上を図り、後期研修プログラムに前倒し的にリンクさせる。希望者を対象として初年度から認定医・専門性の取得を目指した平行型の研修をプロトコールに従い実践する。



### ● プログラムの特徴

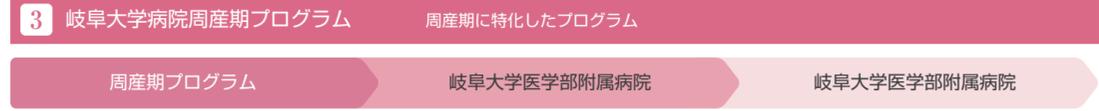
東濃地区や飛騨地区出身の地域枠学生に推奨するプログラムである。東濃地区や飛騨地区の研修病院と岐阜大学病院とのたすき掛け研修を可能としたプログラムである。東濃地区、飛騨地区の5つの協力型病院と新たに連携した、プライマリ・ケア研修と認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制とセンター医療システムを活用している点に特色がある。

### ● 臨床研修の目標の概要

出身地区の研修病院とのつながりを早期につくり地域医療を学ぶこと、地域病院と岐阜大学との協力により行う後期研修、専門医研修につながる初期研修とする。

### ● 5つの協力病院

東濃地区(岐阜県立多治見病院・土岐市立総合病院・中津川市民病院・東農厚生病院) 飛騨地区(久美愛厚生病院) から選択 ※協力病院と大学病院のどちらの研修を先に行うかは選択可能



### ● プログラムの特徴

協力型病院と連携したプライマリ・ケア研修と認定医・専門医の取得を同時に視野に捉えたオーダーメイド構成になっており、豊富な指導医体制とセンター医療システムを活用している点に特色がある。一般研修に加えて、周産期ケアができる小児科医、新生児ケアができる産科医の育成を目指す。

### ● 臨床研修の目標の概要

周産期に特化しているが、プライマリ・ケアに関する研到達目標を先ずクリアすることを条件とする。次いで、地域医療も包括した幅広い周産期と新生児ケアを中心とした研修を行い、関連病院への派遣研修も含んだNICU研修を実践する。